

讃美歌391番 「ナルドの壺ならねど」

1.

ナルドの壺 ならねど
ささげまつる わがあい
みわざのため 主よきよめて
受けませ、受けませ

2.

よわき民に ちからを
おぐらき世に ひかりを
あたえて主の たかき御旨
なさばや、なさばや

3.

怖ずるものに へいわを
なげくものに のぞみを
わかちて主の ふかき恵み
あらわさん、あらわさん

4.

この世のわざ おわりて
あまつくにに かえらば
主よみまえに 仕えまつらん
ときわに、ときわに

Love's Offering

1.

Master, no offering costly and sweet,
May we, like Magdalene, lay at Thy feet;
Yet may love's incense rise, sweeter than sacrifice,
Dear Lord to Thee, dear Lord to Thee.

2.

Daily our lives would show weakness made strong,
Toilsome and gloomy ways brightened by song;
Some deeds of kindness done, some souls by patience won,
Dear Lord to Thee, dear Lord to Thee.

3.

Some word of hope for hearts burdened with fears,
Some balm of peace for eyes blinded with tears,
Some dew of mercy shed, some wayward footsteps led,
Dear Lord to Thee, dear Lord to Thee.

4.

Thus, in Thy service, Lord, till eventide
Closes the day of life may we abide;
And when earth's labors cease, bid us depart in peace,
Dear Lord to Thee, dear Lord to Thee.

※ <https://soundpie.com/hymn/391.htm> からの転載

作詞・作曲者

この讃美歌「ナルドの壺」は、詩・曲ともにエドウィン・ポンド・パーカー (Edwin Pond Parker, 1836-1925) が作ったものです。彼はアメリカのメイン州に生まれ、ボードイン・カレッジとバンガー神学校を卒業して会衆派の教職となり、1860年にコネチカット州のハートフォード中央教会の牧師をつとめ、聖歌隊指揮者も兼ねました。彼はその後50年に亘ってその教会を牧したそうです。彼は熱心に教会の牧会に当たる一方、賛美歌の作詞作曲にも大きな関心を持ち、自分でも200曲以上の賛美歌を作詩し、その他多くの作曲・編曲も行い、また何冊かの歌集も完成させました。この讃美歌391番の歌詞は、1888年のある聖日礼拝の説教の終りに朗読するために書いたもので、翌年CHRISTIAN HYMNALという讃美歌集に初めて発表され、そののち広く歌われるようになりました。

(出典 梅染信夫『頌むべきかな 讃美歌物語2』新教出版社 1994-11-20 P.104)